

SI実践セルフチェックシート（SI大会用）

自分の実践が、「感覚統合理論を活用した支援」の要件を満たしているのか、以下のチェック表で確認してみましょう。

●なにか困ったこと、気になる行動が生じたとき

支援の考え方	・その行動の背景にあることや原因について、感覚探求や感覚過敏の観点で考えることができていますか	<input type="checkbox"/>
	・その行動の背景にあることや原因について、動作の不器用さの観点で考えることができていますか	<input type="checkbox"/>
	・その行動が周囲の人にとって困った行動であったとしても、その行動を止めることだけでなく、子どもにとってのその行動の意味や困り感についても、感覚統合の観点で想像することができていますか	<input type="checkbox"/>
	・アセスメントシートなどを活用し、子どもの感覚統合の特性を客観的に捉え、行動理解に役立てていますか	<input type="checkbox"/>
	・できないことを根気や繰り返し練習によって解決しようとするのではなく、その理由を考え、その基礎となる能力を育むための支援を意識していますか	<input type="checkbox"/>

●生活のなかでの困り感があるとき

生活の工夫	・子どもが求めている感覚を、十分に満たすことができる場面・時間を、生活のなかに設けていますか	<input type="checkbox"/>
	・苦手な感覚を生活のなかで取り除く配慮や、子ども自身で適切に回避できるようなグッズを準備されていますか	<input type="checkbox"/>
	・様々な運動・動作にチャレンジできる機会を、生活のなかで意識的に提供していますか	<input type="checkbox"/>
	・不器用さに対するお助けグッズが準備されていますか	<input type="checkbox"/>

●療育活動として遊び活動を提供するとき

活動提供における工夫	・集団活動を考えるとき、全員に同じメニューを画一的に提供するのではなく、個々の子どもの特性に合わせ、最適な活動を組み合わせたり、自分で選択できるような形態で提供していますか	<input type="checkbox"/>
	・支援者の指示に従って活動するのではなく子どもが自分で考えて活動に取り組んでいけるような工夫や支援者の関わり方における配慮がなされていますか	<input type="checkbox"/>
	・姿勢保持、身体図式、両側協応、シークエンスなどの要素を意識し、活動内容を考えていますか	<input type="checkbox"/>
	・子どもがやりたいことと、支援者が育てたいこと（子どもの苦手な要素）をバランスよく無理なく組み合わせた課題を提供していますか	<input type="checkbox"/>
	・個々の子どもの力に合わせて、「自分の力で出来た！」と感ずることができる挑戦の場を提供していますか	<input type="checkbox"/>
	・上手にできないとき、その場で活動の難易度を変え、個々の子どもが出来る課題に修正できていますか	<input type="checkbox"/>
	・子どもが不安なく参加することができるよう苦手感への配慮や情緒面での配慮を十分になされていますか	<input type="checkbox"/>
・遊具の下にマットやクッションなどを敷き詰めるなど怪我無く遊びのための配慮が十分になされていますか	<input type="checkbox"/>	

●感覚統合の結果は、子どもの様子から

子どもの様子	・子どもは、自分から進んで活動に参加していますか	<input type="checkbox"/>
	・子どもの表情は、楽しそうですか	<input type="checkbox"/>
	・活動の中で、自ら「できた！」という表情をみせていますか	<input type="checkbox"/>
	・不安なく安心して取り組んでいますか	<input type="checkbox"/>